活躍する先輩たち



試行錯誤しながら「モノづくり」の楽しさを知った滋賀職能大での日々。仕事にもその思いが活かされる。

東海高熱工業株式会社
生産管理

2023年 専門課程 生産機械技術科 修了　**溝 智貴さん**

学生時代に取得した資格
- ●技能検定 普通旋盤加工2級
- ●機械製図検定
- ●技能検定 機械検査作業2級
- ●ガス・アーク溶接技能講習

夢のはじまり
工業高校で育んだ力

工業高校時代はさまざまな技能検定に挑戦


CAD図面データと手配部品、部材の仕様をチェック。

幼い頃からモノの仕組みに興味津々で、水鉄砲などで遊びながらも「どうやって水が出るようになっているのかな？」と仕組みや構造を考えてしまうような子どもでした。将来はモノづくりに携わる仕事がしたいと考えていたので、自然に工業高校へ進学しました。高校時代には技能検定の取得に力を入れていて、友達と一緒にさまざまな技能検定に挑戦し、高校2年の時には、普通旋盤加工と機械検査作業の2級試験に合格しました。学科試験の難易度が高くて勉強は大変でしたが、高校生で2級を取得する人は珍しいそうで、周りから「すごいな」と驚かれたことを覚えています。

滋賀職能大との出会い

未来を広げる学び

高校の先生の勧めで滋賀職能大へ



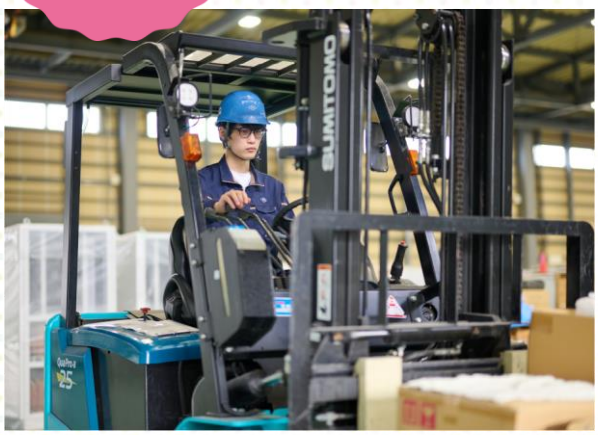
工程通りに製作が進んでいるかを現場で直接確認

将来はモノづくりに関わる仕事がしたいとは思いながらも、高校3年になっても自分が就職するイメージがわきませんでした。将来について考える時間が欲しかったことと、もっと資格試験に挑戦したいという思いもあり、それが叶えられる進学先を探すことにしました。そんな時に高校の先生から「君の希望が叶えられる可能性がある学校」として勧めていただいたのが滋賀職能大でした。実際にオープンキャンパスで学内を見学したところ、設備がとても充実していて、資格取得のサポート体制や、企業への就職に強いことなどにも魅力を感じ、滋賀職能大へ進学することを決めました。

成長を実感

身に付いた技能と自信

挑戦する気持ちや好奇心が生まれた



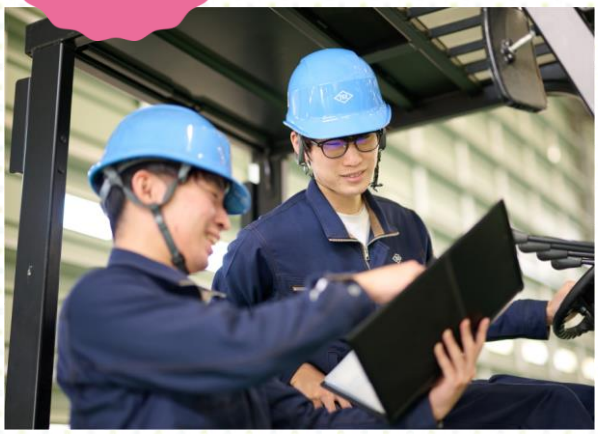
出荷する製品をフォークリフトで運搬

滋賀職能大では、新しい知識・技能を身につけることがさらに楽しくなり、より困難なことに挑戦する気持ちや好奇心が生まれたと思います。最も印象に残っているのは、卒業研究でオシレーティングエンジンを製作したことです。設計から加工まで全て自分一人でやるのは初めての挑戦でした。指示通りに製作する実習とは違い、単に高い加工技術があればできるものではなく、実際に動作するのか、狙った性能通りのものができるのかを考える必要がありました。試行錯誤しながら完成したときの達成感は今でも忘れられません。モノづくりをする楽しさと奥深さをあらためて認識しました。

社会での活躍

技能で明日を開く

「工業炉」メーカーで工程管理を担当



出荷する製品について先輩社員と指示書を確認

今は、電子部品などを作るために欠かせない「工業炉」という設備を製造する会社で働いています。大学での会社説明会をきっかけに「工業炉」が実は身近な製品の生産を支える大切な存在だと知り、興味を持ちました。先生がすぐに会社見学をセッティングしてくださり、実際の製作現場や、社員の方々の仕事ぶりを見て入社を決めました。現在、私は工程管理担当として部材の手配状況や製作作業の進捗管理を行っています。今後はもっとスムーズに業務が進行できるようにすることと、仕事は決して一人ではできませんので、他部署の方たちともさらにコミュニケーションを深め、社員として、社会人としてもっと成長していきたいと考えています。

未来の後輩へ
これから進路を選ぶみなさんへ

資格取得や就職支援が心強い環境



明るい生産管理課のオフィス

滋賀職能大は、汎用工作機械はもちろん、レーザー加工機や3Dプリンタなど最新の機器が揃っていて、生徒は授業以外の時間でも使用できます。技能検定や資格取得などスキルアップをサポートしてくれる環境もあるので、技能を身につけたい、向上させたいと考えている人には最高の環境だと思います。また、少人数制なので学生一人一人に目が行き届いているのも非常に心強いです。就職活動では先生に相談したことをきっかけに、自分にぴったりの就職先を見つけることができました。滋賀職能大は、モノづくりがもっと好きになれることと、大切な仲間や、即戦力となる知識や技能を得ることができる場であることをお伝えしたいです。

上司の方から Message

真面目に取り組み、頼りにされる存在に

滋賀職能大の修了生は、学生時代に明確な目的・目標を持って勉学、実習に取り組んでこられた学生が多く、他の新卒社員とは違った印象があります。溝さんには現在、生産スケジュールの立案や現場との調整などを任せています。作る側から製作現場を管理する側になったので、新しく覚えなければならないことも多く、時には急な予定変更で苦労していることもありますが、いつも真面目に取り組んでいます。今後は他部署からも頼りにされる存在になってもらいたいと期待しています。
チームワークを大切にして、初心を忘れず「継続は力なり」で頑張っていきましょう。



東海高熱工業株式会社 生産管理課 課長　**吉井 肇さん**

（内容は2026年1月取材時のもの）